

# どくする? だ先生! 2

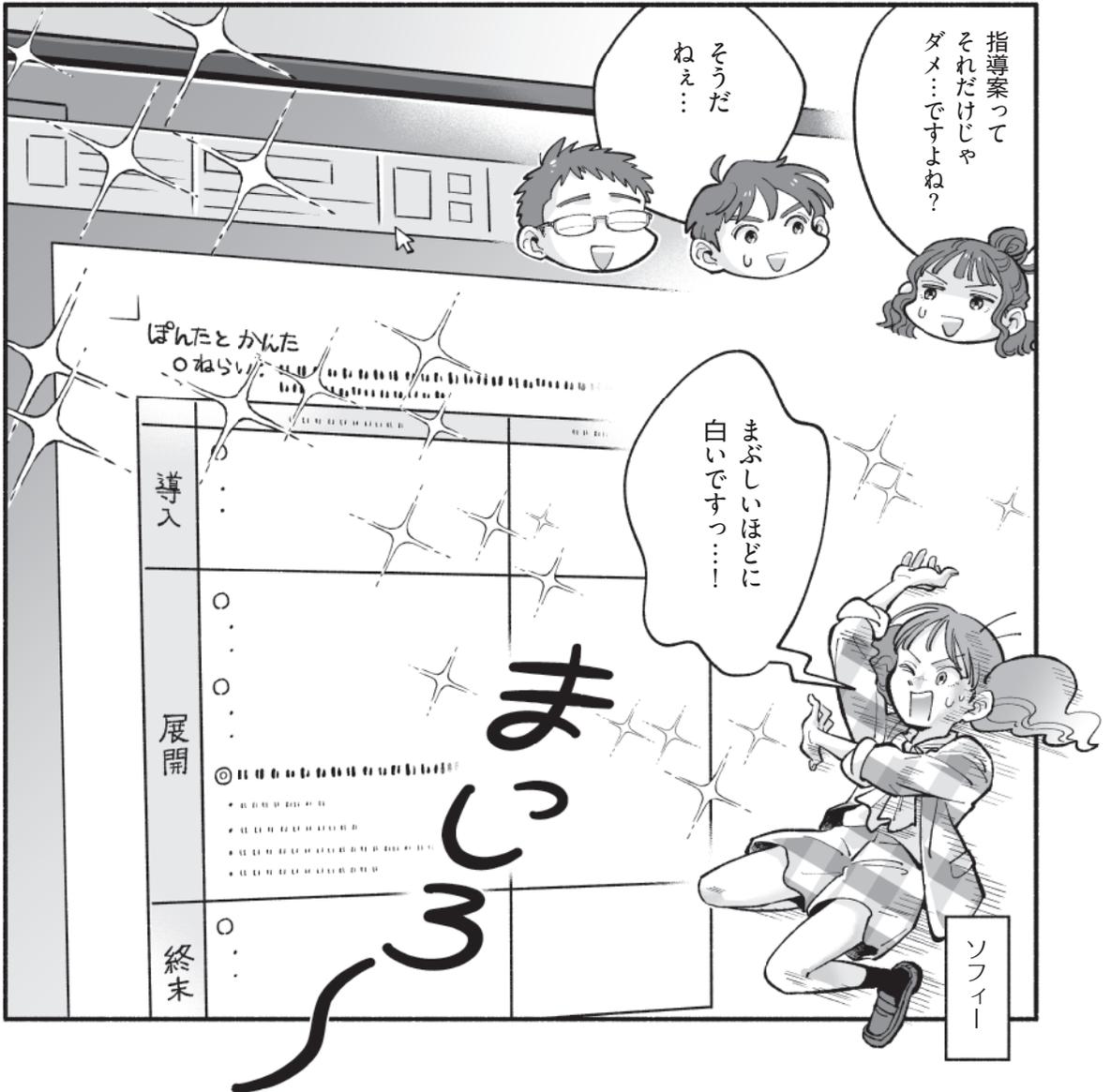
マンガで考える  
道徳教育

## 第4回

道徳の指導案って  
どうやって作るんですか?

〈その3〉







で、  
どこから  
考えるんです？

ほんと  
頼りない妖精  
だな…

道德のことない  
おまかせ  
ください♪



大丈夫だよ！  
正木先生は  
一人じゃない！

一緒に指導案  
完成させようね

せ、せんせえ…  
ありがとう  
ございます…！



そもそも  
「主体的・対話的で  
深い学び」の主役は  
誰だと思おう？

えっ

そりやもちろん…  
子どもたちです！

そうだよ



僕は  
導入で「めあて」を  
立てるのが  
おすすめだね

どうして  
ですか!?



めあて  
ナシ

登場人物は  
誰だった？  
この場面では

先生は何を  
言ってるの  
かな？

今日は何の  
授業かな？

受け身な姿勢



めあて  
アリ

今日は「正直な心」  
について考えよう

正直な  
心かあ…

正直って  
いいことだよな？

主体的な姿勢



主役の子どもたちが  
「この授業の学習課題」  
を意識しなければ  
主体的には学べない

だから導入で  
めあてとして  
提示するんだよ

ねらい

よいか悪いかを自分でよく考えた  
うえでよいと思ったことを行うと、  
すがすがしい気持ちになる。ことを  
理解し、よいと思うことを進んで  
行おうとする態度を養う。



ねらいから考えると…  
「よいと思ったこと」を  
行うことについて考えよう  
なんてめあてはどうです？

それ、「問い」の形に  
するともっといいよ

問いの形…？  
なぜですか？

まあ、その理由は  
このあと分かるよ



問いの形なら…  
「よいと思ったことを行うには、  
どんな考えが大切なのだろう」  
とか？

うーん…  
それだと  
低学年には  
難しいね…

コホン

しつこいようだけど…  
低学年のポイントは  
「結果」だったよね？

どうか！  
低学年は  
「結果」に注目させ  
るんだ！

じゃあ…



できたときの  
すがすがしい気持ち

「よいと思ったことを  
行うとどんないい  
ことがあるだろう」  
がめあてですね！

ズバツ

うん、  
いいと思うよ！

じゃあ、次は  
展開前段だね

範読後から  
中心発問までは  
どうする？

えーっと…



ままた  
セリフ  
とられた…



まずは登場人物と  
あらずじ確認して、  
この場面のかんたの  
気持ちを発問して、  
ぼんたの気持ちも…  
次の場面は…

ストロップ!

正木先生  
ちよつと  
力抜こうか

そうです  
よ

基本発問は  
適当でいいんじゃ  
ないですか?

いや、それも

ストロップ!!

確かに、基本発問は  
必要最小限がいいね

最も時間を  
かけたいのは  
中心発問  
だからね

でも、  
適当じゃダメ!

ねらいに迫る  
中心発問

補助発問

基本発問

導入発問

山場

あら?  
えへへ

中心発問でしっかり  
深められるような  
思考の流れを作っ  
ておかないとね

どこを押さえ  
たらいいかな?

かんたに誘われて  
どうしようか  
考える場面と…

そのあと二人が  
「行かない」と  
決めた場面ですね

迷っている  
場面と  
善悪を判断した  
場面だね

今回は  
「自分で決めた  
ことの快適さ」を  
押さえる授業だけど、  
どんな考えで  
善悪の判断をしたか  
押さえておくのも  
大切だね

ねらいナンバー2  
ですわ



ふっ  
ふっ  
ふっ

よし!

このあと  
中心発問で  
展開前段では  
終わりかな...



中心発問のあとには  
導入のめあてに  
戻ってみよう!

えっ  
めあてに!?

○かたが裏山に入り一人になった  
ぼんたは、どんなことを考えていた  
だろう。  
○二人とも「自分で考えて決めた」と  
言っているけれど、どんなことを  
考えて決めたのだろう。

じゃ、展開前段の発問は  
この二つ!

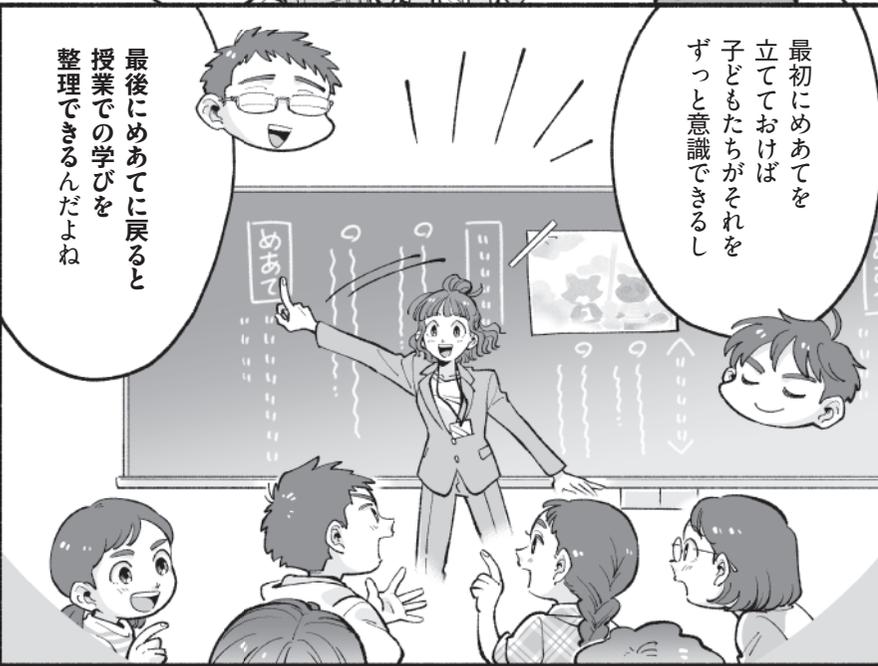


いい流れ  
だね!



「問い」の形に  
したのは  
中心発問のあと  
戻りやすいから  
徳田先生  
すごいでしょ!

どう  
だったのか?



最後にめあてに戻ると  
授業での学びを  
整理できるんだよね

最初めあてを  
立てておけば  
子どもたちがそれを  
ずっと意識できるし



自分との  
関わりで  
振り返らせ  
たいですね...

さて、  
めあてに  
戻ったあとの  
展開後段と  
終末は  
どうする?



みんな  
見つけたという  
子どもたちの  
手柄にできますよ!

「よいと思ったことを  
自分でしっかり  
考えて行くと  
いい気持ちになる」  
それをみんな  
発見できますね

登場人物の  
心情理解に偏らない  
メリットもあるよ

そうだね！  
プラス思考で  
これまでの  
成功体験を  
振り返りたいね

メモ  
メモ

今回は  
「よいと思うことを  
自分で判断して  
行った経験」と  
「そのときの気持ち」を  
問いますよう♪

私も昔、友達が  
意地悪されていた  
のを思い切って  
止めに入って  
すごくすっきり  
したことが  
あったな！

それ  
終末で使える  
かもよ

教師の説話って  
やつですね！



できた〜！  
初めての  
自作指導案〜！

ばいん

自作って  
大変だけど  
勉強になるよね

子どもたちの  
意識を想像する  
のがポイントだね

はいっ！

うん  
うん

おふ

なんか…  
この指導案なら  
導入から終末まで  
ねらいがきちんと  
つながっている  
気がします

そう！  
考え合うことが  
ブレていない  
のが大事  
なんだよ！

先生方、本当に  
ありがとう  
ございました  
…！

感想  
楽しみによ

早く  
作業かたい



つづく

# どうする？ とくだ先生！<sup>2</sup>

マンガで考える  
道徳教育

## 第4回 まとめ

みんなで考え合うことが、  
導入から終末までブレない授業のために…

- ①導入でめあてを立て、学習課題を意識させましょう。
- ②基本発問は、中心発問への準備をしつつ**必要最小限**に。
- ③中心発問のあとは**再びめあてに戻り**、みんなで見つけた「今回の学び」をゲットさせましょう。



次のページから  
これまでのお話の  
ポイントと  
完成した指導案を  
おさらいします！

どうする？ とくだ先生！ 2 マンガで考える道徳教育 <第4回>

令和6（2024）年9月24日発行

発行所 日本文教出版株式会社

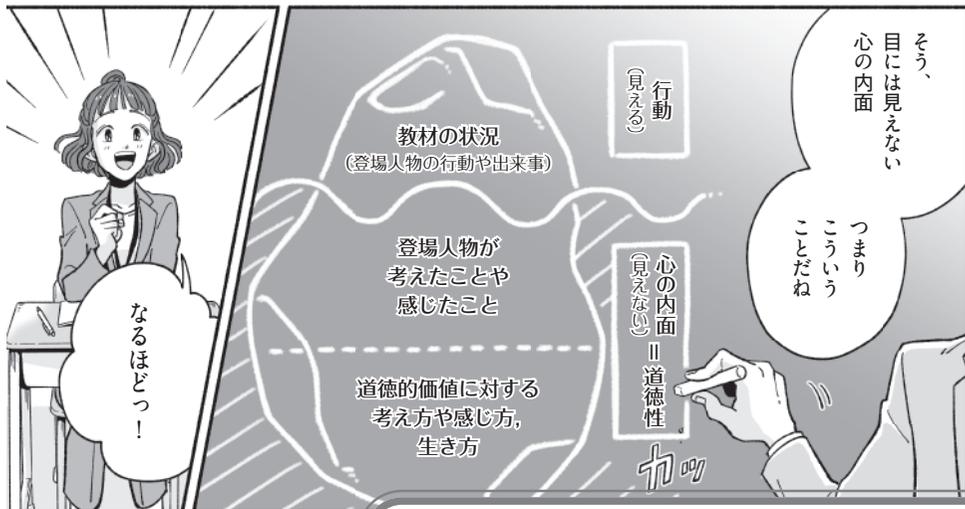
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5 TEL：06-6692-1261

○本作は日本文教出版編集部原作のもと、畿央大学大学院教授 島恒生が監修し、たら子が作画したものです。

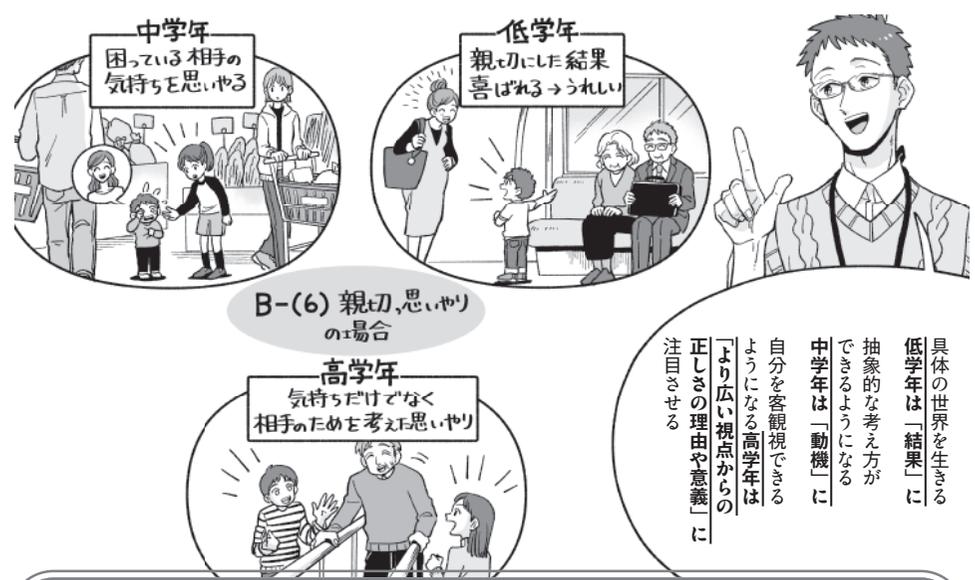
内容についてのお問い合わせは、編集部へお寄せください。（TEL：06-6695-2090 FAX：06-6695-3467）

○本作の無断転載・複製を禁じます。

# 第1回「小学校と中学校の違いってなんだろう？」おさらい

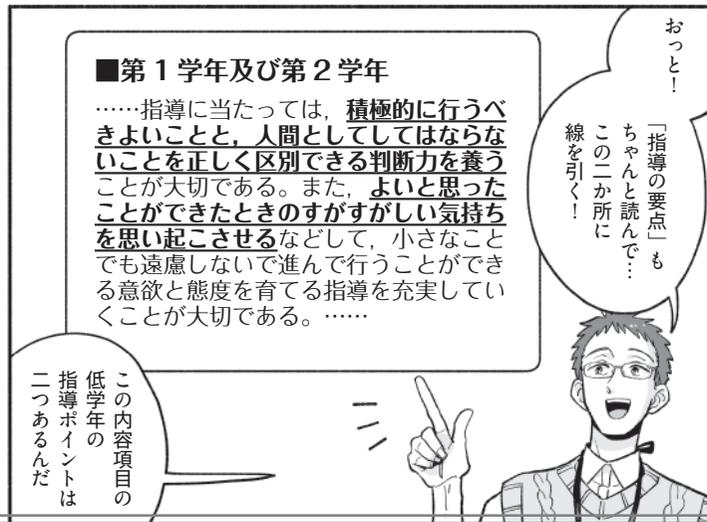


道徳の授業では、行動そのものではなく  
道徳性を養います。道徳性とは、  
行動を支える心の内面のことです。

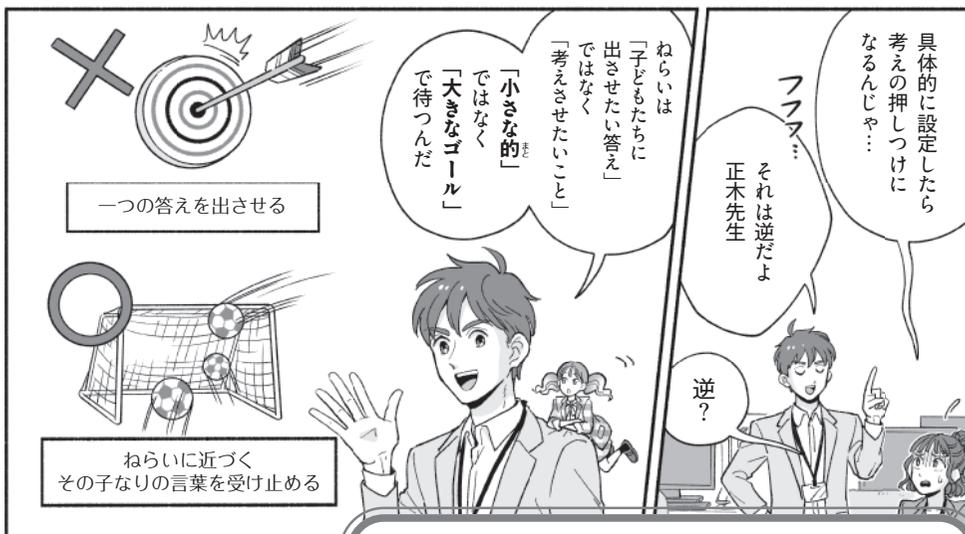


中学校の段階では「人間としての生き方」について考えますが、  
小学校の段階では「自己の生き方」について考えます。  
発達の段階の違いを基に、低・中・高学年それぞれの  
注目させるポイントを意識しましょう。

## 第2回「道徳の指導案ってどうやって作るんですか？〈その1〉」おさらい

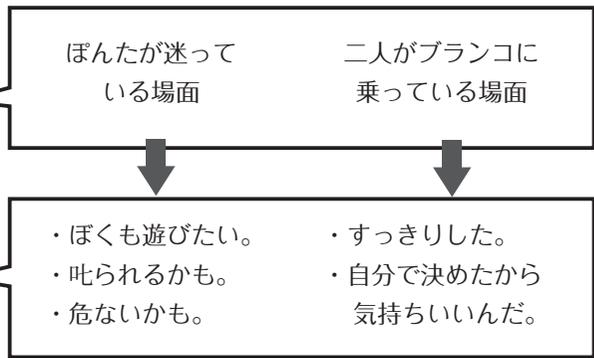
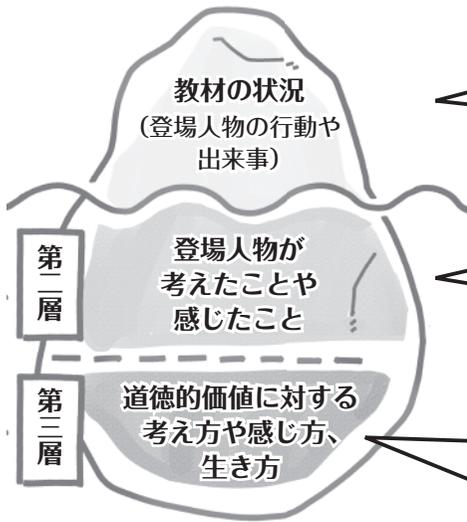


指導案作りを始めるときは、まず学習指導要領解説をよく読み、**その内容項目の指導ポイント**をつかみましょう。  
教材の中で、そのポイントが表れている場面を押さえておくことも大切です。



ねらいは「答え＝<sup>ま</sup>小さな」ではなく、**「考えさせたいこと＝大きなゴール」**として**具体的に**設定しましょう。

### 第3回「道徳の指導案ってどうやって作るんですか？〈その2〉」おさらい



実際にねらいを考えるときには、  
氷山モデルで教材を整理しながら、  
**道徳的価値レベルの考え方を  
子どもたちの言葉で  
想像してみるとよいでしょう。**



中心発問はねらいに迫る発問として、  
**子どもたちの実態を踏まえながら  
設定することが大切です。**  
ただし、できていないことに注目する  
のではなく、できていることをもっと  
伸ばすプラス思考で！

完成した指導案はこちらをチェックです♪



【教材名】 ぼんたとかんた

【内容項目】 A「善悪の判断、自律、自由と責任」

【ねらい】 よいか悪いかを自分でよく考えたうえでよいと思ったことを行くと、すがすがしい気持ちになることを理解し、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。

	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点
導入	<p>○してもよいことかどうかを迷ったり、考えたりしたことはあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームをしていたら、いいところで約束の時間がきてしまったとき。</li> <li>・友達が学校の廊下を走っていったとき。</li> </ul> <p><b>めあて:よいと思ったことを行くと、どんないいことがあるだろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おうちの人に心配をかけない。</li> <li>・ほめられる。</li> </ul>	<p>◇自らの経験を想起させつつ、よいと思ったことを行うことのよさについて考えさせ、本時のめあてとして意識させる。</p>
展開	<p>○かんたが裏山に入り一人になったぼんたは、どんなことを考えていただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かんたは平気と言っているし、大丈夫かも。</li> <li>・遊びたいけれど、危ないかもしれない。</li> <li>・帰れなくなったら叱られるし、心配される。</li> </ul> <p>○二人とも「自分で考えて決めた」と言っているけれど、どんなことを考えて決めたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・叱られないで済む。もやもやしながら遊びたくない。</li> <li>・家族や先生に心配をかけないで済む。</li> <li>・けがをしてはだめだ。</li> </ul> <p>◎風を気持ちよく感じながら、二人はどんなことを思っていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いい気持ちだな。</li> <li>・行かなくてよかった。</li> <li>・ちゃんと自分で決められたから気持ちいいんだ。</li> </ul> <p><b>めあて:よいと思ったことを行くと、どんないいことがあるだろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よいか悪いかを自分でしっかり考えて行動したら、とてもよい気持ちになる。</li> </ul>	<p>◇かんたの誘いと「裏山に入っはいけない」と言われていることとの間で迷っているぼんたの気持ちを押さえる。</p> <p>◇「叱られたくない」という他律的な意識だけでなく、「悪いことをしなければ気持ちよくいられる」という自律的な意識にも気づかせる。</p> <p>◇ぼんたとかんたの気持ちよさを確かめ合ったうえで、その気持ちよさは「自分で考えたから」こそであるという点を押さえたい。</p> <p>◇導入のめあてに戻り、みんなで考えたことを経てどんな学びが得られたか、みんなで確認する。</p>
	<p>○よいと思うことを進んでできたときのことを思い出してみよう。どんな気持ちになったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間外れにされている子に声をかけた。その子がうれしそうにしている、温かい気持ちになった。</li> <li>・門限が近づいて、友達にはまだ遊ぼうと言われたけれど、ちゃんと家に帰った。すっきりした気持ちで夕飯を食べた。</li> </ul>	<p>◇ぼんたやかんたと同じような経験と、そのときの気持ちも振り返らせ、よいと思うことを自分で判断し実行したときのすがすがしさを感じた経験が自分たちにもあったことを実感させる。</p>
	終末	<p>○自分でよく考えて実行するとよい気持ちになることについて、教師の体験談を話す。</p>

教材「ぼんたとかんた」は、日本文教出版『小学道徳 生きる力 2』にも掲載中です。